

【共同住宅】外皮検討に必要な図書リスト

2026.01.14改正

	チェック	図面名称	CAD データ	PDF データ	確認内容(図面が未作成の場合は下記情報が必要)	図面受領状況
意匠図ほか	<input type="checkbox"/>	設計概要書		●	建築地とタイプ数のわかるもの	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	各階平面図	●	●	検討住戸の専有面積、各室の面積、壁の種別と厚みのわかる資料	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	立面図		●	仕上げ区分、窓形状の確認	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	断面図		●	階高、屋根勾配、2重床又は直床、ピットの有無	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	矩計図・断面詳細図(断面図に追記でも可)		◎	断熱材の施工箇所、仕様、厚み、熱橋対策、スラブ厚等を確認	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	建具表、建具配置図(平面図に追記でも可)		◎	平面図に検討住戸の建具仕様とサイズを手書きで記載でも可	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	断熱範囲図(平面・断面図に追記でも可)		◎	断熱材の施工箇所、仕様、厚み、熱橋対策の有無	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	情報入力シート(別紙)	●	●	計画している断熱厚さ・最大可能厚さ・計画している設備	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	共用部の空調エリア範囲図		●	共用部の空調・非空調のエリアを平面図にマーキングした資料	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	構造図(平面・断面図に追記でも可)		◎	計算住戸の躯体寸法、スラブ下がり範囲、鉄骨部材メンバー等を確認	<input type="checkbox"/>

● ... 必須図面・データ

◎ ... 別図に情報を追記していれば不要な図面

○ ... 該当している場合に必要

・PDFデータを一式で送っていただければ弊社で必要図面を抜粋します

・CADデータはDWG、DXF、JWCのいずれかをお願いします。

受領

未作成

不要

■ 温熱等級の検討に必要な情報入力シート 等級

熱抵抗値は記載不要↓ [mm]

採用	部位	仕様	備考	熱伝導率	設計厚	熱抵抗値	最大可能厚
	屋根 (非歩行)	硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号		0.023			
	ルーバルコニー (歩行)	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA		0.028			
	外壁 (中住戸)	吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材A種1H		0.026			
	見上げ梁型	同上		同上			
	スラブ下がり見下げ梁型		温度差係数ゼロ採用なら断熱必須				
	外壁 (妻住戸)	吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材A種1H		0.026			
	見上げ梁型	同上		同上			
	スラブ下がり見下げ梁型		温度差係数ゼロ採用なら断熱必須				
	上部スラブ全面	吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材A種1H		0.026			
	外気に接する床	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA		0.028			
	梁型	吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材A種1H		0.026			
	その他床	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA		0.028			
	梁型	吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材A種1H		0.026			
	ピット上部 (小梁含む)	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA		0.028			
	断熱補強 スラブ上面	吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材A種1H	L=[ 内 外 ] (折返し)	0.026			
	断熱補強 スラブ下面	吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材A種1H	L=[ 内 外 ] (折返し)	0.026			
	断熱補強 界壁	吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材A種1H	L=[ 内 外 ] (折返し)	0.026			
	断熱補強 設備基礎裏	吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材A種1H	L=[ 内 外 ] (折返し)	0.026			
	窓	<input type="checkbox"/> 単板 (部位: ) <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> 普通複層 A [ ] (部位: ) <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> 金属製サッシ (外側: ) <input type="checkbox"/> 取得 (部位: ) <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> 複合サッシ (内側: ) <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> Low-E A [ ] <input type="checkbox"/> 遮蔽 (部位: ) <input type="checkbox"/> 図示					
	温度差係数ゼロ 告示第1105号	<input type="checkbox"/> 適用する (外壁と開口部の熱貫流率が基準値以下とし無断熱部分を無くす事が必須) <input type="checkbox"/> ガラスブロック(単板扱い)を使用していると適用できないので注意! <input type="checkbox"/> 適用しない (高評価を取得しにく)					

※温度差係数ゼロを使うかどうかは、事業主と設計者の意向と責任に基づく判断になります。

※現場の変更で適用条件が満たせなくなると係数ゼロの採用が無効になり適合できなくなります。

※メニュータイプはBEI値が変動するので余裕のない住戸は基準をクリアできなくなる可能性があります。

■ 下記の必要情報を図示してください		検討タイプ:
①	建具寸法 (検討タイプのみ)	
②	住戸下の共用部の空調、非空調室の区分	
③	スラブ下がり位置・梁位置 (検討タイプのみ)	